

国語

の 鍛

練

レベル

4の2

◆練習問題

① —— 「あすこの小屋」とはどのような場所ですか。後の文の□に
ちようどあてはまる言葉を書きぬきましよう。

そら、僕はとちゅうで六十五回いねむりをして、その間
考えたり笑ったりして、夜中の一時に岩手山のちようど三
合目についたろう。あすこの小屋にはもう人がいないねえ。
(『風の又三郎』宮沢賢治)

□
□
□

□
□
□

にある小屋。

② —— 「それ」とは何のことですか。後の文の□にちようどあては
まる言葉を書きぬきましよう。

ゴージュはセロを床へ置いて戸だなからパンを一つまみ
むしって野ねずみの前へ置きました。

野ねずみはもうまるでほかのようになって泣いたり笑っ
たりおじぎをしたりしてから大じそうにそれをくわえてこ
どもをさきに立てて出て行きました。

(『セロ弾きのゴージュ』宮沢賢治)

ゴージュが置いた一つまみの
□
□